



## かまくら散歩で約2万歩の珍道中 平均年齢は63歳のおじ(い)さん達!

神奈川県南支部は2019年の文化・レクリエーション活動の一環として9月22日に“かまくら散歩”を実施しました。

他の支部からの参加も呼びかけましたが募集期間が短く、お彼岸の3連休と重なったことも原因してか、支部からの参加者は佐藤章さん、大島さん、益山さんと赤羽の4人で、神奈川ダンプ支部の稲川さんが加わって5人の寂しいレク活動になりました。稲川さんの参加



かまくら散歩の最初に訪れた報国寺の竹林

で年齢は若干下がりましたが参加者の平均年齢は63歳おじ(い)さんグループです。

午前10時に鎌倉駅に集合した5人は、台風17号の影響から免れて曇りがちな汗ばむ暑さのなかを徒歩30分程の最初の目的地(竹林で有名な)報国寺に向かいました。当初の目的地を報国寺に変更したのは運輸一般時代にお世話になり、1989年に



オウム真理教の犠牲となった「坂本堤弁護士ご家族の墓参を」という「某さん」の提案からです。しかし、それが北鎌倉の円覚寺であったことに気付いたのは報国寺に着いて墓を探しはじめてからのことでした。間違いの原因は「某さん」が奥さんに教えられたことをきちんと聞いていなかったためでした。また、別の「某」さんはデジカメの電池が切れていたのに気づかず報国寺の竹林を撮れませ

んでした(幸い大島さんが持参した充電器のお陰でその後の撮影は可能になった)。報国寺を出た一行は、つぎの目的地に向かうために一旦鎌倉駅に徒歩で戻りました。

駅への途中で、退職後に小町通りの脇道で長らく漬物店「樽生」を営んでいる鉄道本部の木賀さんを訪ねました。木賀さんは“商売は上がった”と言いながら上の写真のとおり元気な笑顔で迎えてくれました。しばしの談笑を楽しみ、僅かばかりお店の売り上げに協力をして樽生をあとにし、長谷方面へ向かうために江ノ電の鎌倉駅に向かいました。



江ノ島電鉄に乗って“イザ長谷”へ

# 長谷寺や高德院の大仏が初めての仲間も！ 歩き疲れて食事が美味しい・お酒が染みる

今回の“かまくら散歩”では、神奈川県に長く住んでいながら観音さまで有名な長谷寺や鎌倉大仏の高徳院には訪れたことがない仲間もいて、この機会に是非とも行ってみようということになりました。

江ノ電の長谷駅を降りると観光客の列がつづく細い歩道をノロノロと歩き、まずは400円のチケットを買って長谷寺を拝観。長谷寺が初めての仲間は金箔で輝く大きな十一面観音像に感動していました。



長谷寺境内の美しい日本庭園で記念写真



長谷寺境内のほほ笑ましい地藏尊

また、長谷寺は観音像の他にも金箔に輝く大仏像や石仏も多く配置され、日本庭園も美しく、さらに展望台から見下ろす鎌倉の海や三浦半島の眺望も美しく、見どころの多い寺です。長谷寺を出て、観光客の列が長く続く細い歩道をしばらく歩いて大仏様が座る高德院へ移動。鎌倉の大仏をはじめて観た仲間は、しばし充電し終えたデジカメのシャッターを切っていました。

大仏をあとに再び江ノ電の長谷駅へと向かいながら佐藤さんが奥さんからお土産に頼まれたという老舗の饅頭屋さんを探しましたが見つからず、諦めて長谷駅の改札口をくぐりました。

ところが駅に入ってからスマホでネット検索をすると近くにめざす店があることが判明、「早く検索すればいいのに」既に遅しでした。

鎌倉駅に到着すると既に午後1時30分を回っていて“疲れるは”“お腹も空くは”で駅近くの食堂に飛び込んで冷たいビールで喉を潤おして一息入れ昼食を済ませました。



昼食が運ばれる前に冷たいビールで一息



美男の大仏をバックに4人のおじさん



かまくら散歩の珍道中を肴に一献

昼食のあとは、今年4月に小町通りにオープンしたパン屋の生食パンを奥さんから土産に頼まれた大島さんをはじめ、各自が奥さんや自分へのお土産を買い求め“かまくら散歩”の締め括りは、佐藤さんと大島さんが足繁く通う大船駅近くの居酒屋に移動して約2万歩の珍道中を肴に杯を酌み交わして“かまくら散歩”を終えました。